

## 【職場環境等要件のに関する取組み】

R6年2月策定

でいさーびす アニエルチ

### 1 入職促進に向けた取組

・法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化

➡動物や子どもと交流することを事業所としての理念としており、日常的に保育施設の子どもと交流を行うことで実現している。

・他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築

➡パート、無資格者での採用も積極的に行っている。

### 2 資質の向上やキャリアアップに向けた支援

・働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等

➡実務者研修受講支援として、受講費の補助を行っている。

・上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ等に関する定期的な相談の機会の確保

➡定期的な職員面談の際に、キャリアアップに関する希望を聞くなど相談の機会を設けている。

### 3 両立支援・多様な働き方の推進

・職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備

➡職員のワークライフバランスを大切にしており、常に希望を聞きながらシフトを組んでいる。非正規職員から正規職員への転換制度も整備している。

・業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実

➡職員相談窓口を設置している。窓口：代表大谷佳弘

### 4 腰痛を含む心身の健康管理

・短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施

➡パート含むすべての職員の健康診断を実施している。また休憩室を設置している。

・事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備

➡危機管理マニュアルに事故発生時の対応を記載している。

## 5 生産性向上のための業務改善の取組

・タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の縮減

➡記録の電子化、社内SNSアプリを使用した情報共有により業務削減・効率化を行っている。

・高齢者の活躍（居室やフロア等の掃除、食事の配膳・下膳などのほか、経理や労務、広報なども含めた介護業務以外の業務の提供）等による役割分担の明確化

➡介護職員とは別に掃除職員、調理職員を配置している。

・業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減

➡業務手順書を作成している。

## 6 やりがい・働きがいの醸成

・ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善

➡月一回定例ミーティングを行い、介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善を行っている。

・地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施

➡保育施設の子どもの日常的な交流や、職員の子ども（子連れ出勤時）との交流を行っている。